



第80号 2025年9月

一般社団法人 至誠会第二病院 〒157-8550 東京都世田谷区上祖師谷5-19-1 TEL : 03-3300-0366(代表) FAX : 03-3307-6731(代表)
編集・総合患者支援室(内線211／395)FAX:03-3307-0013(直通)URL:<https://www.shiseikai-daini-hosp.jp/>

院長就任のご挨拶

院長 山下 由紀

このたび、一般社団法人至誠会第二病院の院長を拝命しました山下由紀です。
身に余る重責に改めて身の引き締まる思いです。

1995年(平成7年)4月、東京女子医科大学病院消化器外科医局より外科に派遣され、以後外科医として勤務し、多くの患者様と接し地域医療の一端を担ってまいりました。そして至誠会第二病院の症例研究で学位(医学博士)も取得、さらに当院は東京都の災害拠点病院でもあり使命を果たすべくDMAT隊員としての活動など至誠会第二病院一筋で携わってまいりました。その長い年月を通じ、患者さま一人ひとり、そして地域の皆さんに支えられて今日を迎えたこと、心より感謝申し上げます。



近年、私たちを襲った新型コロナウイルス感染症の流行は、医療現場に多大なる困難をもたらしました。当院も例外ではなく、病床運営や感染対策に苦慮しつつ、職員一丸となってその困難を乗り越えてまいりました。この経験は結束力を高め、地域医療を守る使命感を一層確かなものとしたと考えております。

一方で、医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。医師の働き方改革が求められ、労働時間の適正化と医療の質の維持を両立させる仕組みづくりが急務です。また、物価高騰やエネルギーコストの上昇など、病院経営を圧迫する要因も数多く存在します。しかし、どのような状況であっても「地域に根ざした安心できる医療を提供する」という当院の使命は揺らぐことはありません。

これから医療は、病院だけで完結するものではなく、地域の診療所や介護施設、行政など多様な機関と連携しながら築いていく必要があります。当院もその中心的役割を担い、実現に向けて尽力してまいります。同時に、職員がやりがいを持ち、安心して楽しく働ける職場環境を整えることも私の重要な責務と考えております。院長としての責務を重く受け止めつつ、これまで以上に誠実に、謙虚に、地域医療の発展に貢献してまいります。引き続き皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

基本理念

「至誠と愛」の心を持って、医療を誠実に行い、地域、社会に貢献いたします

基本方針

- 全職員のチームワークにより、患者さま中心の医療を提供いたします。
- 安全で質の高い医療を提供いたします。
- 地域医療への貢献と連携の推進を行います。
- 医療の進展に沿うべく絶えず努力をいたします。
- 情報を開示し、医療の透明性に努めます。
- 健全で安定した医業経営に努めます。



自分らしく生きるための準備を始めてみませんか

人生の最期は誰にでも訪れます。その時をどのように迎えるかを自分自身で考え、周囲と共有しておくことが何より大切です。アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）は「命の最期のための準備」ではなく、「これから自分らしく生きるための準備」です。

ご自身とご家族のために、ぜひ一度、人生会議を始めてみませんか。

人生の最終段階を自分らしく過ごすために

—アドバンス・ケア・プランニング（ACP：人生会議）のすすめ

皆さんは「もしものとき、自分はどのような医療やケアを受けたいか」を考えたことはありますか。病気やけがで急に意思表示ができなくなることは、誰にでも起こり得ます。そんな時に患者本人の希望が分からぬいため、治療方針について、ご家族が悩み決断しなくてはならないことは心理的に負担となることでしょう。さらに、医療スタッフも判断に迷う場面は少なくありません。

こうした状況を防ぐために大切なのが「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」です。最近では、「人生会議」とも呼ばれ、人生の最終段階や病気が進行した時に、本人が望む医療やケアについてあらかじめ話し合い、記録し、共有しておく取り組みを指します。

人生会議とは何をするのか

人生会議は特別な会議室で開かれるものではありません。日常の中で「自分が大切にしたいこと」を家族や信頼できる人、そして医療や介護の専門職と語り合う場です。例えば、

- ・「できるだけ自宅で過ごしたい」
- ・「延命治療よりも、苦痛を少なくて自然な経過を受け入れたい」
- ・「最期まで食べたいものを口にしたい」
- ・「口から食べられなくなったら、余計な延命治療は受けたくない」といった希望を話し合います。

人生会議は一度で終わるものではなく、病気の状態や生活の変化に応じて繰り返し行うことが大切です。

なぜ人生会議が必要なのか

本人の思いが分からぬまま医療が進むと、ご家族は「本当にこれでよかったのか」と後悔の念を抱くことがあります。また、医療者にとっても本人の意思を尊重できないことは大きな葛藤です。人生会議を通じて希望を共有しておくことで、患者本人にとって納得できる医療を受けやすくなり、ご家族の心の負担も軽くなります。

実際にどう始めればよいか



まずはご自身の価値観を振り返ることから始めましょう。

- ・「自分にとって大切な時間は何か」
- ・「どこで過ごすのが安心できるか」
- ・「最期にどんな風にありたいか」といった問い合わせてみてください。

次に、その思いをご家族や友人に伝えてみましょう。さらに、主治医や看護師など医療スタッフに話しておくと、記録に残してもらうこともできます。最近では、自治体や医療機関が人生会議のパンフレットやワークシートを用意していることもあります。

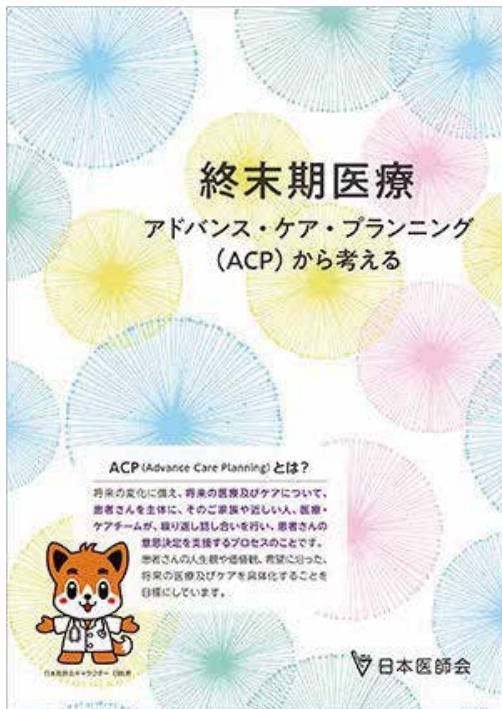
人生会議は「自分らしく生きる」ための取り組み



人生会議というと「死について考えること」と捉えられ、少し重たく感じる方もいるかもしれません。しかし本質は「自分らしく生きるために、どうしたいかを考えること」です。元気なうちから考え、話しておくことで、もしもの時に備える安心感につながります。

厚生労働省も「人生会議」を広める取り組みを進めており、11月30日は「人生会議の日」とされています。ぜひこの機会に、大切な人と話し合うきっかけを持ってみてください。

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」



■ プロフィール ■

内科部長

ひだ まゆみ
樋田 まゆみ

東京女子医科大学 卒業

日本プライマリケア連合学会認定医

日本内科学会総合内科専門医

※内科外来、整形外科外来前に冊子を準備させて頂いております。

ご興味のある方は、ご自由にお持ちください。



地域の皆さまとつながりを深めて

8月2日、3日の2日間、おらほせんがわ夏祭り実行委員会主催による「第36回おらほせんがわ夏まつり2025」が開催されました。地域の方々が楽しむこのお祭りに、至誠会第二病院も初めて参加させて頂きました。

夏の暑さを感じる両日となりましたが、たくさんの熱気と活気があふれる会場ブースにて「キャラクターすくい」と「心臓マッサージ体験会」を出店、お祭りの1つの賑わいスポットとなれました。

ブースでは、「至誠会で生まれました」、「家族がお世話になりました」など、地域の皆さんにお声がけいただき、当院が『地域に根付いて、間もなく100年』になること、地域の一員としての歴史を改めて感じることもできました。これからも当院は地域の一員として、心の通った看護を提供できるよう努めて参ります。

来年の夏まつりでも皆さまの熱気と活気に
ふれ合えることを今から楽しみにしています!



看護部

副看護部長 板垣 久美子



◆ 診療科

- 内 科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神 経 内 科
- 糖尿病内科
- 外 科
- 整 形 外 科
- 人工関節センター(整形外科)
- 足の外科センター(整形外科)
- 脳神経外科
- 産 婦 人 科
- 泌 尿 器 科
- 小 児 科
- 眼 科
- 麻酔科(ペインクリニック)
- 放 射 線 科

月初めご来院時に被保険者資格
(マイナ保険証、資格確認書等)
の確認をさせて頂いております。

病院専用バス時刻表

- 土曜日は午前中のみ運行します。
- 日曜祭日は休診につき運休です。
- ○印は土曜日の最終便です。

H30.4.1付

京王線 仙川駅		
時間	病院 発	仙川駅 発
8時	20 40	3 30 45
9時	5 25 45	15 35 55
10時	5 25 45	15 35 55
11時	5 25 45	15 35 55
12時	5 25 45	15 35 55
13時	5 (25) 45	(15) 35 55
14時	5 25 45	15 35 55
15時	5 25 45	15 35 55
16時	5 25 45	15 35

小田急線 成城学園前駅		
時間	病院 発	成城学園前駅 発
8時	20	0 35
9時	10 40	20 50
10時	10 40	20 50
11時	10 40	20 50
12時	10 40	20 50
13時	10 (40)	(20) 50
14時	10 40	20 50
15時	10 40	20 50
16時	10 40	20

